

## 為替リスク対策について

貿易をするにあたり、決済方法の選択も重要となってきます。

海外とのやり取りとなる貿易において、使用する通貨が異なるため、為替リスクが発生します。日数がかかって入金される場合、為替相場が予測できず採算計算がうまくいかない場合もあります。

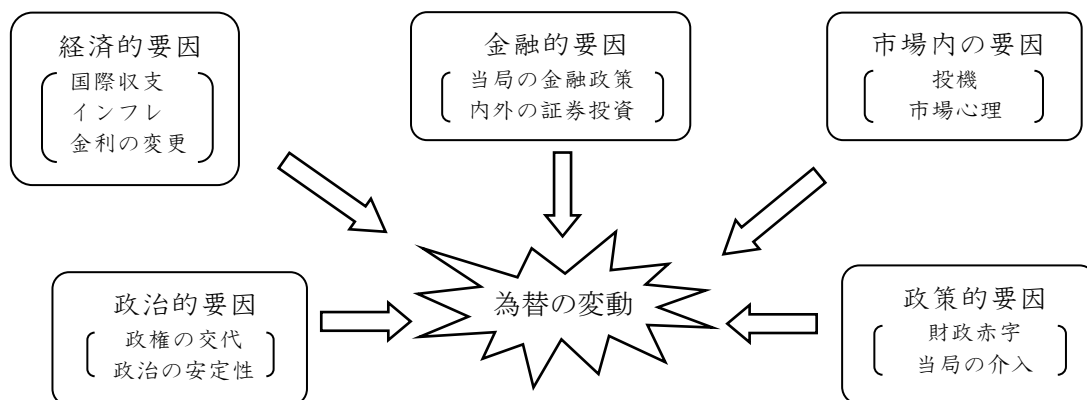
そのような為替リスクを回避（ヘッジ）する方法を見ていきます。

## 為替の変動



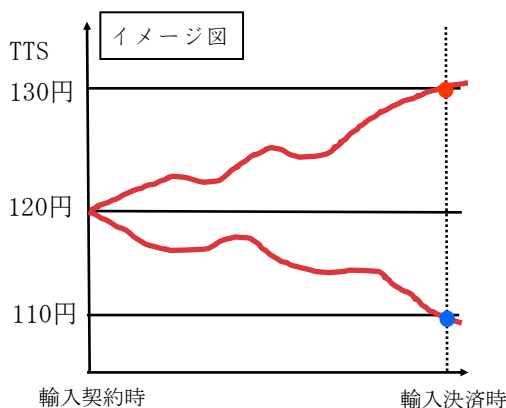
海外の国との取引において、使用する通貨が異なるため為替リスクが発生します。それにより、支払額に変動が生じます。

### 《為替変動の要因》



為替の変動を受けた場合、円ベースにおける支払額に増減が生じることとなります。

契約時に1ドル120円の時に、  
US\$10,000.00の輸入契約をした場合



契約時の支払予定額は、1,200,000円

⇒ 円安の場合（1ドル130円の場合）  
支払額は、1,300,000円

⇒ 円高の場合（1ドル110円の場合）  
支払額は、1,100,000円

輸入決済時の為替相場によって支払額が変動する！

## 為替リスク対策について

### 為替リスクヘッジ方法



為替相場の変動により、契約締結の時点で採算を確保することができなくなります。その為替リスクを回避するために、いくつかヘッジ方法をご紹介します。

#### ◆円建て（自国通貨）による決済

契約の際の価格を自国通貨である円建てで取り決めします。円建てでの決済になるため、為替変動リスク対策として効果が高いです。しかし、貿易の相手側が為替変動リスクを負担するため、相手の同意が必要となります。

※円建て決済のため為替リスクが発生しません。しかし、外貨建て決済より高い水準で商品の取引価格を固定化されると結果的にコストが上昇してしまうケースもあります。商品の取引価格が妥当なものかどうか、十分確認する必要があります。



#### ◆メーカーズリスク

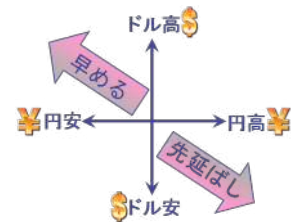
メーカーと商社の間で、為替相場の変動範囲や取り決めした為替変動範囲を超えた場合の対策を契約条件に盛り込みます（「メーカーが負担する」「双方が折半する」など）。輸出入者双方が長期安定取引を希望する場合に、このようなヘッジ方法が選択されます。



#### ◆リーズ・アンド・ラグズ

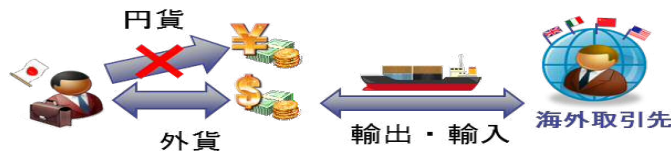
リーズ (Leads) とは「外貨建て取引の決済を早める」、ラグズ (Lags) とは「外貨建て取引の決済を遅らせる」という意味です。決済のタイミングを早めたり遅めたりして調整することで、為替リスクを回避します。

(例) 輸入者の立場 (米ドルを購入する立場) だとすると・・・  
 円安ドル高 → 決済を早める  
 円高ドル安 → 決済を遅らせる



#### ◆マリー

マリー (Marry) とは、「密接に結合させる、融合させる」という意味です。輸出と輸入を同時に行っている場合、双方を別々に決済せずに支払・受取条件を調整し金額と決済時期を一致させます。輸出入において通貨売買取引を行わないため、銀行手数料や為替販売手数料を節約することができます。



## 為替リスク対策について

### ◆為替予約

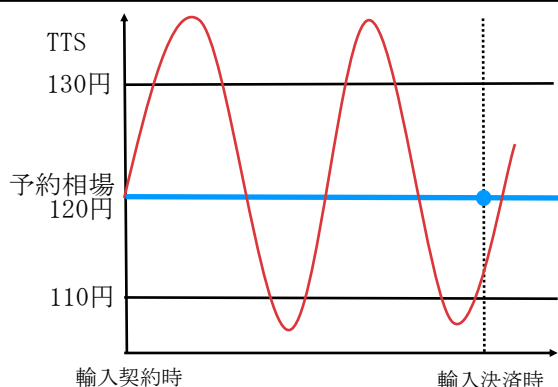
為替予約とは、将来受け渡しをする外国為替について、通貨種類・金額・為替相場・受渡時期などの条件を取り決める契約のことです。銀行との契約になりますので、前の4例と異なり、貿易の相手方と交渉する必要なく取り組むことができます。

為替予約の区分は以下のようになります。

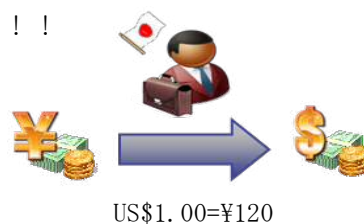
区分	取引内容
売予約	お客様の買予約(銀行からみて売予約) ・・・輸入為替決済、仕向送金、外貨預金預入など
買予約	お客様の売予約(銀行からみて買予約) ・・・輸出手形買取、被仕向送金、外貨預金出金など

例えば、為替予約を締結すると以下のようになります。

輸入者がUS\$10,000.00の取引に対し、予約相場120円/米ドルの売予約（輸入予約）を締結した場合



決済日のTTSがいくら上下に変動しても、1ドル120円でドルに換金できる！！



輸入契約時に為替予約を締結することで、取引採算を確定することができます。

しかし、一度為替予約を締結した場合、内容変更・取消はできません。必ず為替予約を実行して頂く必要がございますので注意が必要です。

なお、船積みの遅延や貨物到着日の変更等やむを得ない場合は、期日変更（予約延長）や取消ができる場合もあります。その場合は手続きに時間がかかりますので、できるだけ時間の余裕を持ってお手続きください。なお、期日変更・取消の場合は別途費用がかかります。

さらに、受渡時期には複数の区分がございます。

区分	内容
確定日渡し	将来の特定の日を受渡日として予約を実行。期日の確定している送金・輸入手形の決済に使用される。 (例) 2015年10月15日
オプション渡し	将来のある一定期間を定め、その期間内に予約を実行。
順月渡し	予約締結日から数えて各月の対応日を基準として期間を定める。 (例) 2015年10月15日～11月16日

→次頁へ続く

## 貿易実務のツボ

暦月渡し	「1月渡し」のように、ある特定の月を受渡として定める。 その月中に実行すれば、その予約相場が適用される。 (例) 2015年10月1～10月30日
特定期間渡し	任意に定めた一定期間に受渡を行う。 (例) 2015年10月20日～10月30日

為替予約は、銀行窓口における締結のほか、インターネット上での締結が可能です。銀行窓口での締結は、通常電話でのやり取りにより行われ、締結後書類の授受を行います。一方インターネットでは、オフィスにいながら相場を見て予約を締結することができます。

### 外為 I B サービス

当行にはインターネットで簡単に為替予約取引を行うことができる「外為 I B サービス」があります。インターネットを利用して外為取引が簡単かつスピーディーに行うことができます。

このサービスの一部に「為替予約サービス」がございます。インターネットを利用し、為替予約をリアルタイムに締結できるサービスです。

#### ◆為替予約サービス

- 取扱区分・・・売・買予約、確定日渡し・オプション渡しが可能(注<sub>1</sub>)
- 取扱可能通貨・・・米ドル・ユーロ・中国人民元など当行保有通貨13通貨(注<sub>2</sub>)
- 取扱時間・・・銀行営業日の9:00～17:00(15:00以降に成立したお取引は翌営業日扱いになります)
- ご利用料・・・月額基本料は無料(注<sub>3</sub>)

(注<sub>1</sub>) 当日渡し・翌日渡しの取引はできません。

(注<sub>2</sub>) 当行の判断によりお取り扱いを中止する通貨がございますので、ご了承ください。

(注<sub>3</sub>) 別途ビジネス I B 契約と外為 I B 契約が必要となり、月額基本料がかかります。

#### ◆リープオーダー機能

リープオーダーとは、海外マーケットでご希望のレートになったら自動で為替予約を締結する機能です。電話でのやり取りがなくなり、迅速かつ正確に為替予約が可能です。

1ドル120円になったら、US\$100,000.00を買う設定

↓  
市場の相場が設定内容に到達したら・・・

↓  
**締結**

(自動的に為替予約締結)



※外為 I B サービスについての詳細は、当行窓口までお問い合わせください。

※為替予約のお取引にあたっては、当行所定の審査が必要です。

## 貿易実務のツボ

発行：北陸銀行

国際部 国際業務推進グループ

〒930-8637 富山市堤町通り1-2-26

TEL: (076)423-7111(代表) FAX: (076)423-7561

E-mail: kokugyo@hokugin.co.jp